

平成28年2月22日

政友会

代表 村上光則 様

復命書

受講日 平成28年2月12日(金)～13日(土)

研修先 博多市

研修内容 * 子ども・子育て支援新制度
* 立地適正化計画と公共施設等総合管理計画

参加者 庄野 未藏



「議員力アップ講座 in 博多」受講所見

議員名【庄野末藏】

◆受講日：平成28年2月12日（金）～13日（土）

◆研修先：博多市

◆研修内容：子ども・子育て支援新制度
立地適正化計画と公共施設等総合管理計画

▲ 子ども、子育て支援制度

地域の子育て家庭に対して適切な施設、事業の利用の充実に実現
平成15年4月子ども、子育て支援新制度スタート国では担当大臣設置
もの机上論だけでは、これまでと変ることはいない、抜本的な解決に向け
取り組まないと進展はないと思う、国民アンケートの中で子どもを増やせたい、
増やさない理由に、子育てや教育にお金がかかりすぎる、配偶者が高齢で
産むの難しい、子育てができる職場環境がない、他に健康上など、

今回低所得者に配分する分を子育て支援に回した方がベストと思う
大学や専門学校などに希望しても、学費が高く希望校へは行けず
困っている若者が多数いることを承知の上での支給、残念ではない
今回の支給は選挙目的と思われるも過言ではない、低所得と云っても
一部の人達に支給と思える人も多く、その中で広島県は庁舎内の空スペース
を利用して保育園を開設、や子どもがあれば色々身近なところに

子育てに役に立つこともあるよです、併せてこれからの高齢化社会に向け
テレサ-ビス対応だけでなく、八代市で今開催されているサ-ビス、地域の公民館を
活用(毎月1回くらいを週2~3回開放し地区住民が集える会場)利用
できるようにするよ、福祉サ-ビスだけでなく、子育てにも一役買っ
たり人材も近くに企業+会社退社され暇をもちあましている人も多く住んで
おられ、子育てに、地域全体が支えに行く必要があると思う

※ 少子化対策は他の内題は優先し先送りした結果、遅れているように
感じられるように、改善は無理と思う、全力で取り組んでほしい。

立地適正化計画と公共施設等総合管理計画

行政は都市計画審議会など開催、その場へ出席にも、内容を説明、報告のみである場合がある。

都市計画にもとついて街づくりを取組む必要がある。(街づくりの現状と課題)
高齢者の増加が財政を圧迫し、他の問題解決に手加回らない事態発生、集約して進めることも大切、学校幼稚園、保育園など今後管理費用がかかる財政的にどう対応か考えて行く必要がある。

◎地方都市は今後30年間で2割〜3割程度の人口減少が見込まれる。◎老年人口の伸び率は鈍化する一方で、15〜64歳人口は3割から4割強減少する見込まれる。

◎大都市においては高齢者数の著しい増加が大きな課題。大都市圏200万^{近郊部}340万人増
生産年齢人口の減少、歳入減少が見込まれ、高齢化は社会保障費の増大要因で歳出増大
近い将来財政収支がさらに悪化、※岡山県赤松町約4,000人の町では、
10年間で出生率が現在2.8%位に伸び、これまでの取組みを改善独自の施策を出し
あひ、町民の協力、財政再建に務め、長野県の下條町では、首長が指導、現状に
町民が努力された、町、村だと思ふ。

工20外3内一構想全国等の^{整備}計画は推進計画策定、これからの街づくりに最的かと思ふ
熊本市も近日中に計画をまとめる予定、とか、八幡市も庁舎建設と併せ、4丁、鏡草

地方議員研究会

などを活用し、地元の^{まち}づくり計画を進めてほしい。